

区民と区長の対話集会

「さとことブレスト（補助 133 号線周辺地域）」（第 1 回）

令和 5 年 11 月 26 日（日）

杉並区都市整備部 都市計画道路担当

◆第1回 さとことブレスト（補助133号線周辺地域）

開催日時：令和5年11月26日（日） 午後1時00分～午後3時00分

場所：杉並区役所本庁舎中棟6階 第4会議室

参加対象者：無作為抽出した下井草1丁目、本天沼1丁目、阿佐谷北1～6丁目、
阿佐谷南1～3丁目地域の方
一般応募（区内在住・在勤・在学）の方

参加者人数：17名（3名欠席）

◆ブレインストーミング

4班に分かれて、ブレスト形式（※）により実施。

区長は各班を回りながらブレストに参加。

○次の3点の内容を中心にブレスト

①都市計画道路補助133号線（中杉通り）について、
もっと知りたい事、疑問に感じていること

②お住いの地域のまちづくりについて、今後期待すること

③その他、今日のテーマに関連するアイデア・意見など

○ブレスト終了後、班ごとに発表

○参加者から一言

○講評

※ブレスト：ブレインストーミングの略。あるテーマについて数人で自由なアイデアを出し合う会議の方法です。

岸本区長の発言内容（挨拶）

今日は、補助 133 号線の「さとことブレスト」第 1 回ということで私も楽しみにしてきました。

私は区長就任以来、一貫して対話を重視して区政に取り組んでいます。

昨年 10 月からは、西荻窪と高円寺ですでに都市計画道路事業に着手している状況の中で、道路整備をまちづくりと共に考えるために、自由に意見を出してもらう会として、「さとことブレスト」を行って参りました。その中では不安の声や、事業に対する反対の意見などたくさんお聞きして参りましたが、将来のまちに何を残していくかという広い見での議論が進んできていることも大変興味深いと思います。

ただし、今日の補助 133 号線は、今までの西荻窪や高円寺と少し違い、中杉通りの延伸計画で東京都の事業であり、まだ事業着手していません。

補助 133 号線の成田東区間は優先整備路線に選定されているため、測量などが進んでいて、そこに住んでいる方や、周辺に住んでいる方からたくさんの不安の声が区に届いています。

区の施行ではありませんが、地元自治体としてまさにこの杉並区の中で行われている計画について、みなさんのもっと知りたい、考えたいという気持ちを早いうちから皆で出し合って、今日のお話も全てしっかりと受け止めていきたいという思いから、この「さとことブレスト」を企画いたしました。自由に聞きたいこと、話したいこと、不安なこと、色々な意見を賛成反対に関わらず、みなさんで率直に話し合っただけだと思います。

限られた時間ではございますが、私も各テーブルを回りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

各班の発表内容

■A班

- ・70年前からの計画なのに、なぜいま動き出したのか。
- ・前々からある計画だが、見直し等を行い、現状にあった計画になっているのか。
- ・南北のアクセスは悪いと思っている。
- ・自転車利用者は多いのに、駐輪場が少ない、道路の整備が行き届いていない。
- ・133号線の延伸ではなく、コミュニティバス等の活用で課題は解決できないのか。
- ・区政の情報や課題へのアクセス方法を改善してほしい。

■B班

- ・以前から始まった計画だが、時代に合わせて都度見なおしているのか。
- ・道路の必要性については、改めて見直してもよいのではないか。
- ・防災のために道路を拡張するのは理解できるが、延焼遮断するために家屋の防火を行おうとすると、各個人の財産なのでなぜ自分だけがとなってしまう。補助金などで手助けしてあげる必要がある。
- ・無電柱化すると今の道路でも通りやすくなるのではないか。
- ・自転車の交通量が多いので、通る時に安全になってほしい。
- ・並木道が綺麗なので、道行く人が滞在できたり商店があったりする拠点があると良い。
- ・自転車の交通量が多いので、車にとっても自転車にとっても道が狭く怖いと感じている。
- ・車の利用者からすれば道路が広くなって安全で便利になる。
- ・今の中杉通りが良いと感じるのは通過交通があまりなく、道路も広く、景観も良いことが挙げられる。南側の計画を進めるうえでも、今の中杉通りの良さを維持できる計画にしてほしい。

■C班

- ・中杉通りはもともと住民の声で緑化されたことなど、住民の声を聞いて進められてきたということが、杉並区自体の価値である。
- ・緑や安全を守るという観点で、道路が必要あるかどうか考える必要がある。
- ・そもそも延伸や道路の目的・役割を考える必要があり、それに関する情報をもっと出してほしい。
- ・現状、延伸したときの費用や手間など詳しい情報を得にくい。
- ・こういった情報があれば道路整備が住民に認められるのかを議論する必要がある。
- ・必要な情報を揃えたうえでこのような対話をする必要がある。
- ・このような機会を増やすことが、道路を考える第一歩になると思う。

■D 班

- ・現状では、杉並から世田谷へ行くルートが少なすぎる。
- ・環状七号線、環状八号線ではしばしば渋滞が起こるため、補助 133 号線の整備を進めることによって、渋滞が緩和されるのではないかと期待している。
- ・計画を進めるうえでのメリットを明示してほしい。
- ・工事による気候変動が起きないか心配。
- ・工事中の通学路の安全は確保できるのか。
- ・事業が不透明であるため、もう少し説明が欲しい。
- ・具体的にどの位置に将来道路がくるのか明示してほしい。
- ・ゴミ出しのマナーが悪い。
- ・町内会の形骸化が心配。
- ・点字ブロックが少ない。
- ・文化的資本（図書館、書店等）が多くあるとよい。
- ・区 HP を分かりやすくしてほしい。
- ・補助 133 号線に関する情報を当事者たちに確実に共有してほしい。

ブレインストーミングで出たご意見

■A班

<都市計画道路補助133号線（中杉通り）について、もっと知りたい事、疑問に感じていること>

- ・なぜ、今頃70年前の133号線の話が出てくるのか。
- ・133号線の事業の進捗はどうなっているのか。
- ・133号線を進めていく理由はあるのか。
- ・今の状況にあった計画になっているのか。
- ・133号線の現場を見てほしい。
- ・高架化や地下化して道路はつくれないのか。
- ・工事着手していないと進んでないように見えるが動いているのか。

<お住いの地域のまちづくりについて、今後期待すること>

- ・現状の中杉通りを自転車が通りやすい道にしてほしい。
- ・既存の商店街が活性化するまちづくりをしてほしい。
- ・区の方針として自転車関与事故件数を減らしたいというのと、自転車活用の推進は相反するのではないか。
- ・自転車の活用を推進するなら自転車のルールを広く周知してほしい。
- ・駐輪場を駅前に作ってほしい。（例：喫煙所を駐輪場にするなど。）
- ・無電柱化も行ってほしい。
- ・南北のアクセスが悪いので交通機関を増やしてほしい。
- ・バス停がわかりにくい。
- ・道路ではなく、小さいバスなどを増やしてほしい。
- ・防災の面からみると既存の道路を拡幅してほしい。

<その他>

- ・杉並区の抱えている問題について知ることのできる機会を増やしてほしい。
- ・杉並区公式HPをもっと見やすくしてほしい。
- ・広報を気軽に見られるようにしてほしい。
- ・情報発信方法を増やしてほしい。
- ・対話集会はどう反映されていくのか。
- ・拡幅しても電柱のせいで道が狭い。

■B班

<都市計画道路補助133号線（中杉通り）について、もっと知りたい事、疑問に感じていること>

- ・今の中杉通り（早稲田通り以南）も昔は細い道がいくつもあり、広い道路がない地域で、何十件もの家がなくなった。今回も同じことが起こるのかと感じている。
- ・道路が広くなることで便利になる一方で、なくなるお家のことを考えると賛成していいのか考えてしまう。
- ・道路が整備されると、善福寺川緑地のみどりや憩いの場がなくなってしまうのではないかと心配がある。
- ・拡幅後にどのような道路になるのかイメージがあるのか。
- ・道路が実際にどこを通るのか。
- ・計画決定した後に家を買った人は、道路の計画があることを知ったうえで買っているが、昔から住んでいる人にとっては、いつ自分の敷地の上に線が引かれたのか分からない状況なので反対している。
- ・途中まで広げたところで意味があるのか。
- ・いつ工事が始まっていつ終わるのか。
- ・財源はどこから出るのか。
- ・計画を決定した当初はその時代背景があったと思うが、時代が移り変わった時に都市計画道路の計画を止める選択肢はあるのか。
- ・都市計画を時代に合わせて変更させなくてよいのか。
- ・今の中杉通りも駐車している車があるので自転車で車道を走るのは怖い。
- ・車を利用する場合は南まで道路ができるのはありがたい。
- ・道路の地中化はできないのか。
- ・広い道路を整備して沿道を耐火造の家にするのは防災上理解できるが、それを個人の費用負担で強いるのはどうなのか。
- ・耐火に配慮した家に建て替えるのに補助金などはあるのか。
- ・無電柱化の方を進めて欲しい。
- ・道路ができると便利になる一方で、通過交通が増えてしまうと住みやすいまちになるのかは疑問がある。
- ・環七、環八しか縦の交通がないので南に行くのに遠回りをしなければならない。
- ・エリアによって賛成と反対は分かれそうな印象はある。
- ・事業が始まることになったら区民の意見を言える場を設けてくれるのか。

<お住いの地域のまちづくりについて、今後期待すること>

- ・自動車も自転車も歩行者も安心して通行できるようにしてほしい。
- ・車も自転車も安心して利用できるモデルケースのような道路にしたい。
- ・「自転車も車も安全な杉並区」を目指したい。
- ・道路の途中で休憩できるスペースが欲しい。

- ・商店と道路の境界を曖昧にして、海外のように露店みたいな使い方ができると活気が生まれそう。
- ・ウォークブルの視点を取り入れて、歩いている人が過ごしやすい、滞在できる道路にしたい。
- ・現在の中杉通りみたいに並木道のような歩行者にとっても良い道にしたい。
- ・消防車が入れるような道路にしてほしい。

<その他>

- ・自転車のルールを徹底させてほしい。
- ・一方通行が多いが標識がもっと欲しい。
- ・駅前からの並木道は杉並の誇りである。
- ・阿佐谷は地価が高いため個人店が出店しづらく、チェーン店が多くなってしまった。
- ・空き家で放置されている草木が道路に飛び出して見えづらいところがある。
- ・空き家を利用して道路を広げることはできないか。

■C班

<都市計画道路補助133号線（中杉通り）について、もっと知りたい事、疑問に感じていること>

- ・なんでS字の線形になっているのか。
- ・道路整備の目的の共有はされているのか。そのためにどのような事を行っているのか。
- ・133号線が開通したら周辺の幹線道路の交通の危険性が減るのでは？と感じている。
- ・133号線は南北方向に必要な路線だと思うが、車のための道路である必要はない。
- ・善福寺川緑地を潰して道路整備をする事は問題である。
- ・どうして計画が実施されず、今までそのままだったのか。
- ・計画反対や、測量お断りの文字があるのに、それらを無視して計画を進めていることに疑問を感じる。
- ・住宅に生えている草木が道路整備により伐採されてしまうということを、住民は考えなければならぬと思う。
- ・計画は東京都に一方的に決められるのではなく、住民も一緒に参画して決めていくべき。
- ・道路を整備することで、何を大事にしていきたいのかを議論していくべき。
- ・現計画の位置でなくても、防災や救急の面から南北に通る道路はあった方が良く思う。
- ・環七、環八ができた当時、光化学スモッグで苦しめられていた。それを考えると133号線が全線開通すると、南北の車の往来が増え周辺地域への健康被害が増えると思う。
- ・防災より前に住民の暮らしを考えるべき。
- ・南北の交通に関しては、すぎ丸が解決している。
- ・まだ、中杉通り延伸の必要性が感じられていない。
- ・中杉通りが混んでいる印象はない。
- ・どれだけの人の住まいがなくなり、費用や時間はどれだけになるのか。
- ・どれだけ人の移動の質を上げられるのか、ものすごい説得力がないと納得しないと思う。
- ・みんなが満足できる道路として、暮らしにそった形で整備する必要がある。

- ・計画当初の防災の目的を今でも同じように考えている計画なのだろうか。
- ・スケジュールや予算などが分かりにくい。
- ・地域に根差した情報（事故数など）を杉並区からもっと発信した方が、道路整備の必要性が感じられるのでは。
- ・この計画や工事をもっと多くの人に知ってもらいたい。
- ・計画を初めて見た時は途中まで広がっているし、さらに先も狭いので道路整備は必要だなと思った。
- ・様々な情報（例えばパーソントリップや事故件数）を示してほしい。
- ・高齢者や子どもの意見を聞いてほしい。
- ・整備が必要ならそれを示す数字を見せてほしい。出さないと不信感を抱く。
- ・用地として半分土地を削られてそこには住めなくなるが、半分しか補償されないと東京都に言われた話を聞いて、不合理に感じている。これでは反対する人が出ると思う。
- ・道路整備の範囲に住んでいる人が反対だから、単純に全体として反対とはいかない。そのためにも何が目的なのか、どんな便益があるのかをはっきりする必要がある。
- ・防災と言っても切り口が大きい。もっと細かく示してほしい。
- ・費用は杉並区から出すのか。
- ・用地交渉は東京都と杉並区どちらが行うのか。

<お住いの地域のまちづくりについて、今後期待すること>

- ・地方と比較すると体を動かすことができる所が少ないと感じている。
- ・すぎ丸の通る道が狭く、すれ違うのに危険に感じている。
- ・善福寺川の近くや、すぎ丸の通る道が狭いと感じている。
- ・中杉通りのけやき並木の写真はビジュアル的によく使われるが、南阿佐ヶ谷はそういうのがなく寂しい。
- ・南阿佐ヶ谷とか成田東は開発とかがなく住みやすい。それがいいと言う人もいる。

<その他>

- ・対話集会のような場では、議論をすることで計画の目的を共有して、新たに目的を獲得していくことが大事だと思う。
- ・対話集会において、道路整備をするべきか、整備しないならば別の解決策があるのかを議論していく様なステップを踏むことが大事だと思う。
- ・今まで意識していなかったのもので、今日は当事者意識を高めるために参加した。
- ・このような場では、エビデンスを示しながらの方がより議論が深まると思う。
- ・道路拡充よりも子どもに対する予算を増やしてほしい。
- ・杉並区のホームページでは必要な情報にたどり着かない。
- ・この前の区長選を機に、こうした都市計画道路の話を知った。
- ・このような対話集会の開催は、今までの区長では実現しなかった。これから、このようにどんどん情報発信をしてほしい。
- ・参加したことで今日が第一歩だと感じている。

■D 班

<都市計画道路補助133号線（中杉通り）について、もっと知りたい事、疑問に感じていること>

- ・中杉通りが延伸されることにより、どれくらい交通量に影響を及ぼすのか。
- ・中杉通りが延伸されることにより、通学路の安全は確保できるのか。
- ・中杉通りが延伸されることによる工事スケジュール、通行止めの影響はあるか。
- ・光化学スモッグがどれくらい増加するか。
- ・中杉通りが延伸されることにより、青梅街道等の渋滞が解消されるのか。
- ・工事中に渋滞が発生するのか。
- ・この計画を進めたいと思っているのは誰なのか、誰にとってメリットがあるのか。
- ・この道路整備は最重要課題なのか。
- ・優先整備路線（青梅街道～五日市街道）は何m幅の道路になるのか、車道と歩道の内訳は。
- ・優先整備路線（青梅街道～五日市街道）には、現況の中杉通り同様に駐車帯をつくるのか。
- ・阿佐ヶ谷駅前のスーパーと銀行前の歩道は、植樹帯を控除すると、通れる幅が狭く、歩道内に自転車が多く走行しており危ない。そのため、優先整備路線（青梅街道～五日市街道）を整備するのであれば、歩道の幅を広くしてほしい。
- ・優先整備路線（青梅街道～五日市街道）は、具体的にどの位置になるのか。
- ・優先整備路線（青梅街道～五日市街道）を整備することにより、南阿佐ヶ谷駅を移設することになるのか。
- ・現状、青梅街道から成田東四丁目交差点を南側へ抜けていく道に、多くの車が通り抜けているが、そちらに道路計画を移せないのか。
- ・杉並から世田谷へ抜ける道があまりに少ない。
- ・優先整備路線（青梅街道～五日市街道）を整備することにより、新たな渋滞が生じるのか。
- ・交通量が多くなると大変。
- ・事業に対する周知が足りない。
- ・青梅街道から五日市街道へ抜ける道がないため、不便。
- ・優先整備路線（青梅街道～五日市街道）の用地交渉はどれくらい進んでいるのか。

<お住いの地域のまちづくりについて、今後期待すること>

- ・阿佐ヶ谷全体の年齢層があがってきていると感じるため、若者が住みやすいまちになるといい。
- ・青梅街道などの主要な道路には、点字ブロックを設置してほしい。荻窪駅近くの青梅街道で、視覚障害者の方から、駅がどちらか尋ねられたことがある。
- ・南阿佐ヶ谷駅近辺に駐輪場が少ないため、増やしてほしい。
- ・阿佐ヶ谷駅前に特に違法駐輪が多いため、大きな駐輪場をつくるなどして改善してほしい。

<その他>

- ・ 文化的資本（阿佐ヶ谷駅前の書店等）がなくなることが心配。
- ・ 住民同士の付き合いの希薄化を防いでほしい。
- ・ ゴミ出しのルールを徹底してほしい。
- ・ 鎌倉街道は都市計画道路ではないのか。
- ・ 河北病院の建替えについて、事業の透明感がない。
- ・ 区 HP が分かりづらい（探している情報がどこにあるか分からない）。

参加者から一言

- ・まちづくりとは何かと考えたときに、住んでいる人々がつくりあげるものではないかと思った。これからもどんどん杉並区らしいまちになってほしい。
- ・まちづくりには関心があり、このような機会があれば以前から参加したいと思っていた。対話が大事だという区長の言葉に嘘はなかったと感じた。対話というのは、集まった皆さんで様々な価値観を共有しながら、意見をぶつけていくものだと思います。今日は補助 133 号線の近隣にお住いの方々と意見交換し、自分が今まで思っていたこととのギャップがあり、そういうギャップが何から生まれるのか考える機会にもなったため、これからもっともっとこのような場をつくっていただき、杉並区を良くしていってほしい。
- ・杉並区民 57 万人の中の数十人の意見かもしれませんが、今後の区政に繋げて頂ければと思います。駅前の書店がなくなるというのはショックなニュースだった。本というのは、皆で見守っていくべき資産だと思うので、何かできることがあればと思う。
- ・私は仕事で、外国でインフラ整備をしており、住民説明もファシリテート（進行）する立場でした。参加者の立場になってみて「こうすると意見が活発に出るな」など新たな発見がありよかった。是非またこのような機会をつくり、多くの方に関心を持っていただくとよいと思う。
- ・阿佐ヶ谷に長く住んでいるが、今回の杉並区からのポスティングで初めてこの事業について知った。これを機に、自分事として考えていければと思う。阿佐ヶ谷に住んでいて思うのが、他のまちと比べても道が狭い。しかし、逆にそれは人との距離感が近いと体感的に感じ、それがすごくいいことだなと思い、このような機会をいただいてすごくいい日だなと思いました。
- ・杉並の良いところは、住民自治の伝統があるところ。一人一人がどうしたら自分の暮らしが良くなるかを考えて実行する気持ちがある。こんな素晴らしい区はないと思う。補助 133 号線の計画に、このようなかたちで住民が参画して、防災対策に適切なのか、緑を守れるのか、その二点をみんなで考えていきたい。
- ・今まで政治に無関心であったが、本来なら自分たちでやるものであると思い、今回参加した。行政側からこのような場を設けることはすごいことだなと思い、これからもどんどん情報発信や見やすい HP づくりをして頂けると、少し変わるのかなと思う。

- ・今日出た意見がどのように HP に反映されるのか、どのように周知されるのか期待したい。意外と、この計画に否定的な意見もあるんだなと驚いたんですが、これから 2024 年問題で今まで通り物が届かなくなる可能性があるのも、是非とも道路整備をして渋滞など交通が滞らないようなかたちにして頂きたいと期待する。
- ・私は篠笛奏者として世界で演奏してきており、女性の社会進出や文化的なことでも皆さんの繋がりをサポートさせて頂ければと思います。
- ・阿佐ヶ谷が大好きでもっといいまちにしていきたいと思っている。今日このような形で、区長と皆さんと様々な話ができ、本当に良かったです。これからもいろいろな場で意見交換させて頂ければと思います。
- ・私は今、ケア 24 阿佐ヶ谷のボランティアをしており、阿佐ヶ谷のまちには座るところがないため、赤い椅子を設置する取り組みをしている。それと、阿佐ヶ谷駅前のスーパーや銀行前で、自転車に 2 回ひかれかけた経験もあり、交通問題の改善に取り組んでいる。全体の交通事故のうち自転車が関与していることも多々あるため、自転車のルールを守りましょう。
- ・私も行政職員として働いており、事業を進めるうえで情報共有が不透明、執行が遅い、フィードバックできているのかなど、かなり問題意識が高く、住民参加の取り組みなどについて調べている。今回、凄く良い意見が出たため、東京都にどのようにフィードバックするのか杉並区として、きちんと説明が欲しいなと思いました。
- ・道は便利になってほしいし無電柱化もしてほしいが、車の通行量が増えると今のような静かな環境が保てなくなるのではないかと懸念している。これからそのような意見に対する調整をうまくしてほしい。
- ・様々な世代、いろいろな経歴の人たちと意見交換でき、貴重な時間を過ごすことができた。これからもこのような機会があれば参加したい。
- ・普段、補助 133 号線に反対する会への活動にたまに顔を出し、どのような状況になっているのか情報収集しています。今の時代は、道路を中心としたまちづくりではないのではないかというのが、私の仮説です。補助 133 号線が延伸されることについて、意外と知られていないなと感じたため、杉並区では、より多くの住民へ周知できる方法を模索してほしい。優先整備路線区間では測量反対ののぼり旗も立っており、当事者は必死です。この道路を整備するのであれば、その方々が納得するような理由を明らかにするようお願いしたい。

- 今まで杉並区のイベントにあまり参加したことはなかったが、ポスティングを機に楽しそうかとも思い参加しました。阿佐ヶ谷に住んでおり、杉並区の並木道や雰囲気が好きなので、今後、お金も時間もかかる大変な事業だと思うが、今日出た貴重な意見が何か役立つと良いなと思う。
- 和気あいあいと普通に話ができ、とても楽しかった。直接人と会って話すのは意義があり、これからもこのような機会があれば参加したいと思った。

岸本区長の発言内容（プレストを終えて）

皆様本日はお疲れ様でした。

今回、この対話集会に参加していなければ、この計画そのものを知らなかった人もいらっしゃると思う、区が積極的に発信し、このような対話集会に来てもらえるように取り計らう姿勢が改めて重要だと感じました。また、杉並について、もっと知りたい、関わりたいと思っても、現状では、その次への道筋が分かりにくい状況で、HPをとってみても、「このまちづくりについて知りたい」と特定の題材について探しても、容易にその情報まで辿り着けるツールになっていないというのも改めて痛感しました。現在、どのようなHPが最善か模索していますが、その必要性について、深く考えた日となりました。

今日は、補助133号線について、自由に話していただきましたが、立場の違うそれぞれの方が交あう対話の場となり、防災、自転車、緑、交通ネットワーク、阿佐ヶ谷のまち、杉並全体のことなど、非常に様々な角度の意見がありました。やはり、このような大きな道路をつくるとなると、多くの時間もお金もかかり、個人の犠牲も払うため、道路をつくるという合意だけではなく、何のためにつくるのか、本当に必要なのかという疑問に対する「概ねの合意」を得なければ、道路をつくる、つくらないにかかわらず、幸せな未来はないと強く思いました。

東京都の事業ではあるとはいえ、基礎自治体である私たち自身が、何のためにつくるのか、今一度考えるためにも、この対話を続けていきたいですし、その先には、「(仮称)デザイン会議」というものを計画しています。道路をつくるための会議ではなく、まさに今日出たような意見をさらに深く考えていくもので、必要に応じて、出た意見に対し、調査を行い、それを学習していくようなものにしていきたいと思っております。その「(仮称)デザイン会議」については、様々な参加方法がございますので、今日のその後に繋げて頂ければと思います。

本当に今日はありがとうございました。